

【経済循環構造から見た高梁市の展望】

# 山田方谷に学ぶ地域振興

岡山大学大学院・経済学部  
中村良平

# 導 入

- 高梁市商工会議所で、2000年2月に「都市が選ばれる」という演題で講演。
- その時のポイントは、

強力なイメージ戦略がある ⇒ キャッスル・ガーデン構想

国道190号線の川沿いに武家屋敷風の壁

単独で観光客を定常的に呼ぶことは困難

そこで、全国区の観光地である倉敷を活用する、白壁だが城は無い

南北軸や東西軸を活用して地域連携

街は、積極的に変えていくところと、かたくなまでに保存していくところが必要

- ・都市のシンボル

城と一体なまちづくり

- ・オールドタウンとニュータウン

- ・歴史の交流

- ・川の活用、水辺の利用 / 土塀で川へのアクセスが遮断されている

地方は、Uターン、Iターンの受け入れる心構えと具体的準備を

- ・自立と競争の時代

- ・地域戦略の時代

- ・新しい都市経営戦略の時代

- ・PRの下手な自治体は、住民が去り衰退する。

- ・情報の共有化;福祉や街づくりに関する情報の交換

# まちの経済が活性化するには

## 基本概念

- どのようにして、域外からマネーを稼ぐか。
- どのようにして、域内でマネーを循環させるか。

漏出最小化

それには

- ものやサービスを域外に出荷・販売する。
- 域外で稼いで域内にマネーを持ち帰る。
- 域外マネーが域内で使われる。(例: 観光)
- 域内で、域外から獲得したマネーが使われる。

# まちの経済が活性化するには

## アプローチ

- ① ボトムアップ型の合意形成。
- ② 定量的な分析。

具体的には

- 市民、職員、議員、経済団体からなるワークショップをテーマを決めて実施する。最低でも5回。
- まちの企業が、企業間で、域際で、どのような取り引きをしているのかを把握する。
- 生み出された付加価値が、地域内外にどの様に分配されているのかを把握する。

# 笠岡市のWS「笠岡の新しい仕事づくり会議」

## 1. 地域資源型産業チーム

- 島部会（島・空き家を活かした観光）
- 食部会（笠岡の食の資源を活かした産業）
- 干拓部会（干拓地への企業誘致）

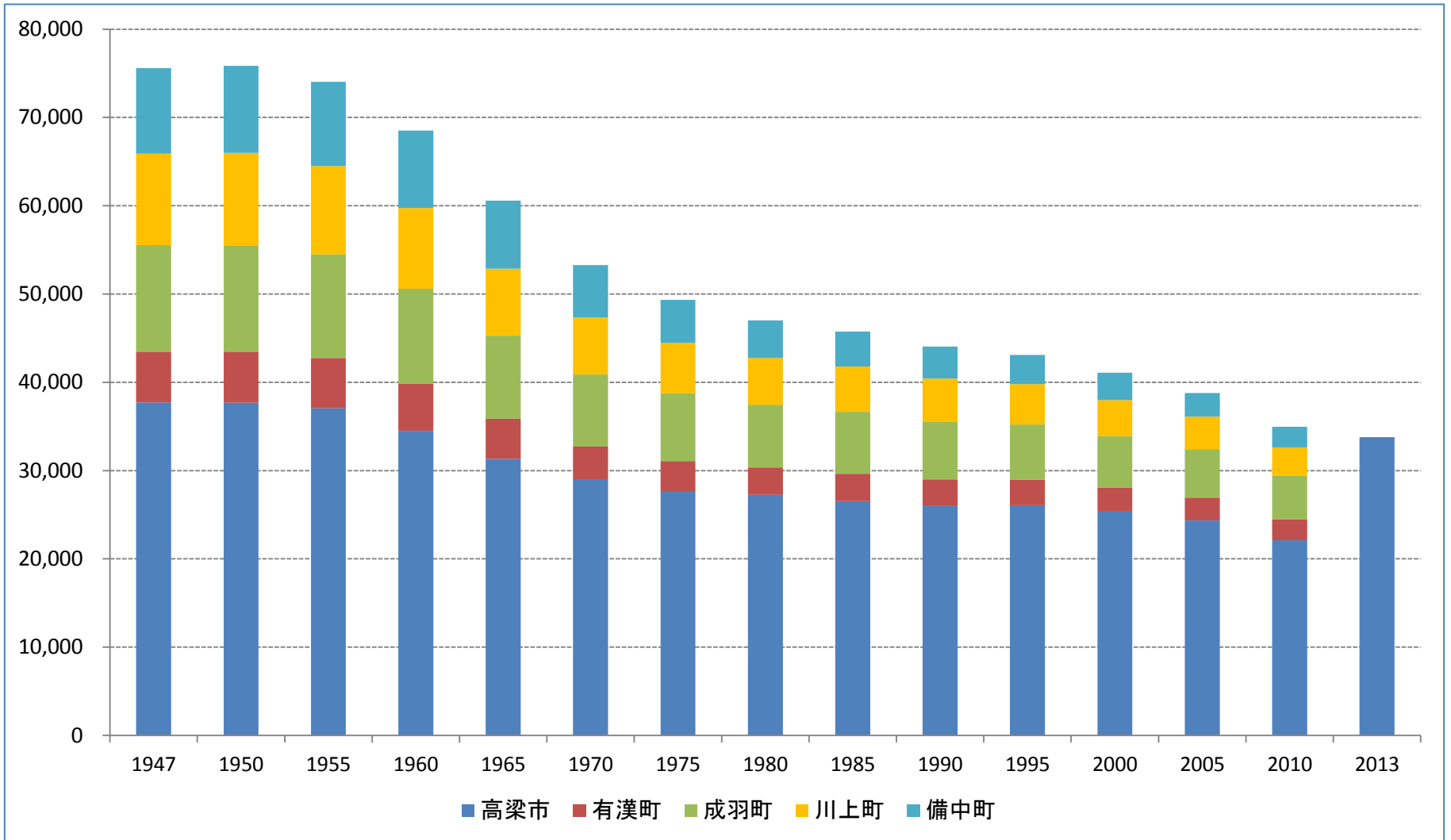
## 2. 福祉産業チーム

- 高齢者部会（働ける場づくり）
- 女性、障害者部会（働く場、就労支援）

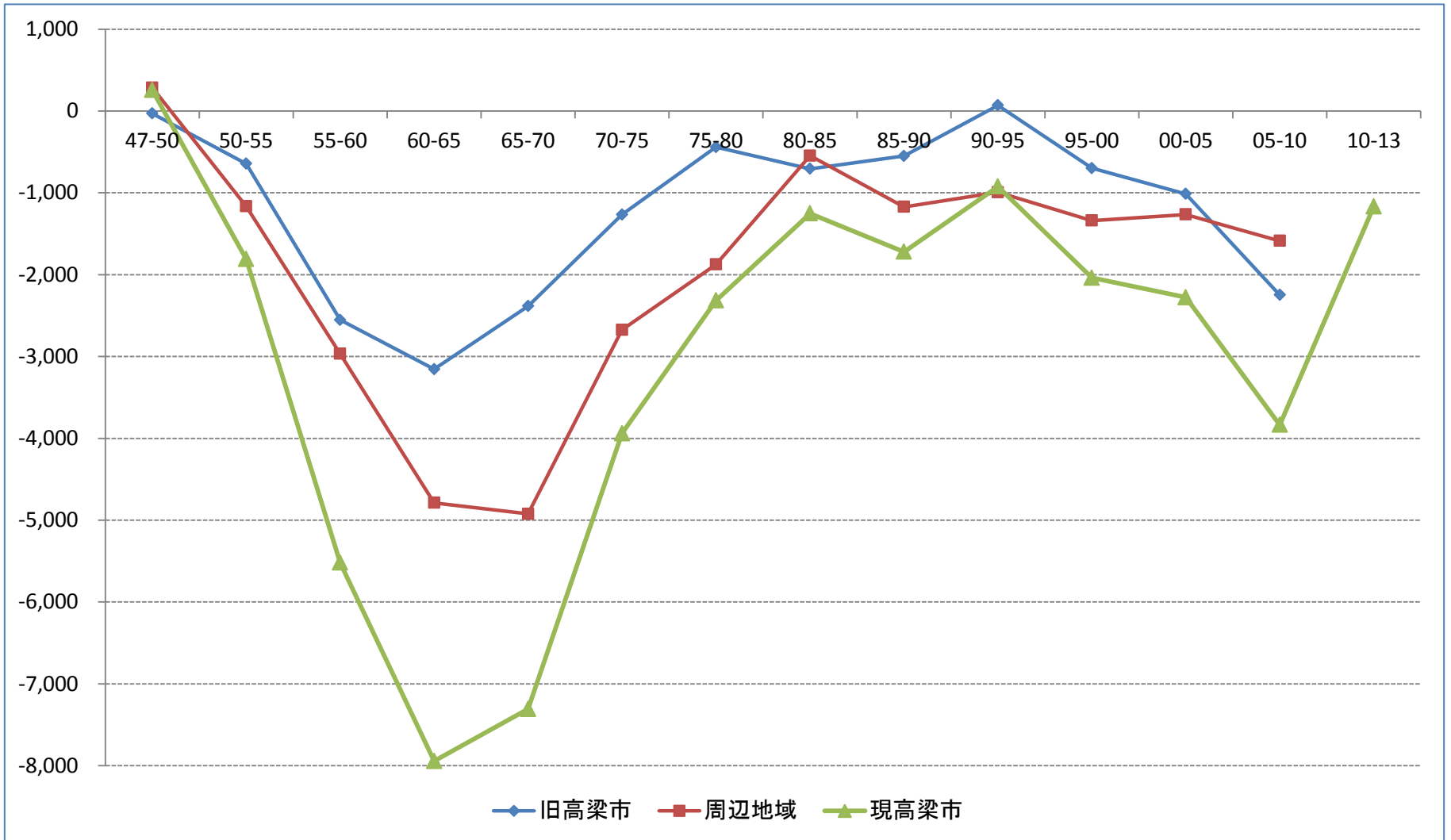
## 3. プラットフォームチーム

- 人材育成部会（仕事体験の場、創業支援の仕組み作り）
- 情報発信部会（島を活かしたロングステイなど）

# 旧・新高梁市 人口推移

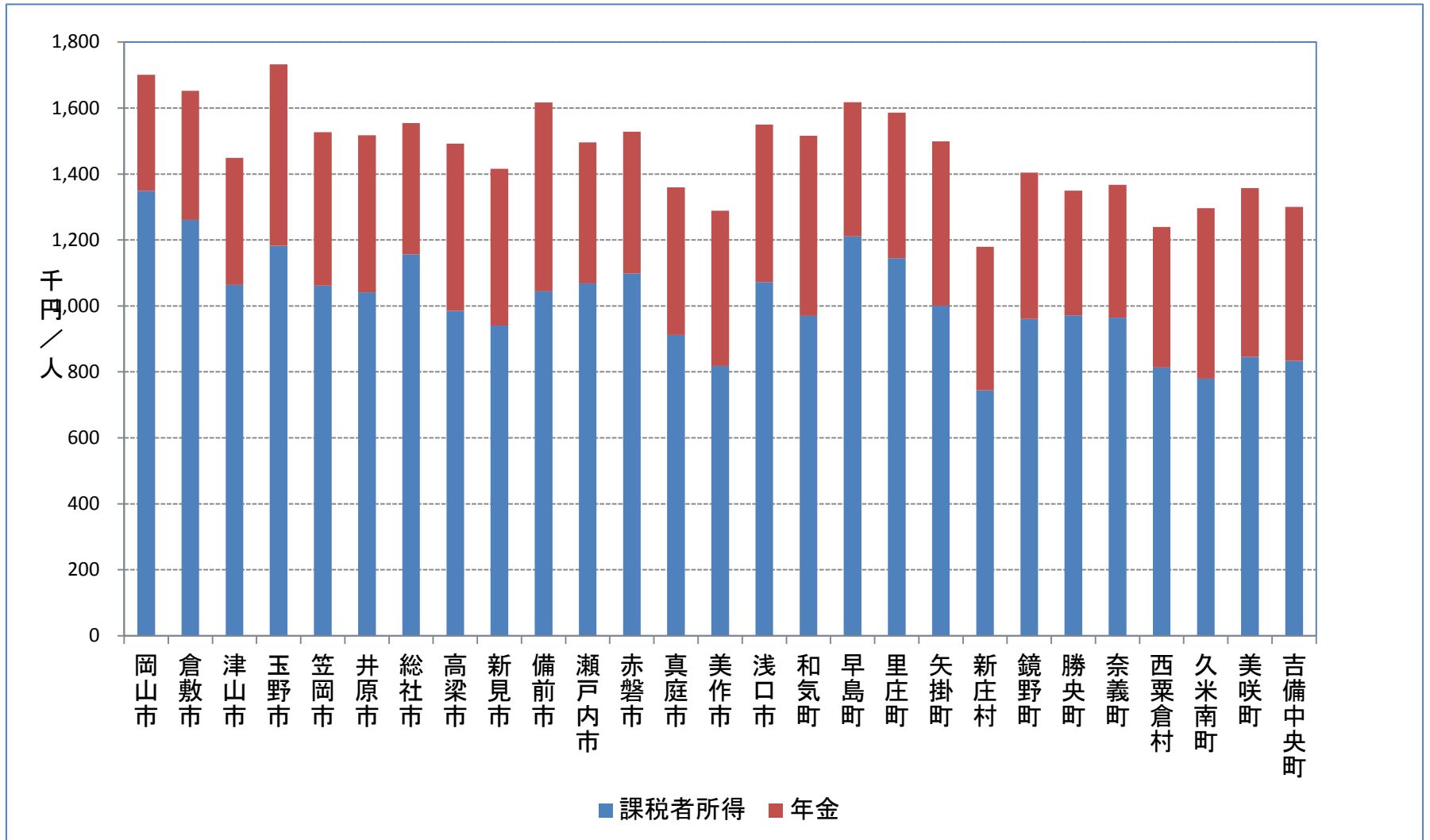


# 高粱地域就業圏域 人口動態





# 県内市町村 個人所得の比較



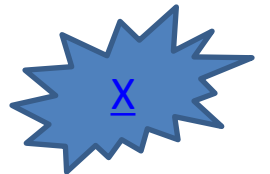
2011年度

# 本 題

以下のスライドは、2010年3月24日に開催された岡山大学大学院地域公共政策、ネットワークアゴラの第2回研究会において、大森一生・中村良平が共同で報告したものであり、原作が大森一生、編集が中村良平である。

# 構成

1. 今なぜ、備中高梁に歴史が蘇る？  
山田方谷の存在、そのDNAとは
2. 方谷DNAとまちづくり
3. これまで駄目だった訳
4. 方谷DNA蘇るまちづくりの提案



# 1. 備中高梁に歴史が蘇る？

- 高梁の町並みは京都、金沢などから見ると見劣りはするが、今も城下町としての歴史、情緒を感じさせる。他の小都市と比較してみても、備中松山城、武家屋敷、頼久寺、吹屋などの歴史的遺産、古い町並みも残っており、さらに歴史上の人的資産もある。
- とりわけ、現代の経済財政事情にも通じる、幕末の山田方谷（藩主は板倉勝静）など優れた人材を輩出している。彼のDNAには現在の地域振興の素材が埋もれており、それは現在の財政再建の観点からも注目を浴びつつある。
- これからの「まちづくり」は、高梁にこのDNAを蘇らせ、これまでとは異なる地域活性化としての高梁オリジナルモデルを提案したい。

# 山田方谷(1805~1877)

財政的に破綻していた備中松山藩(現高梁市)の藩政を僅か7年で立て直し、十万両(約600億円)の借財を返済し、反対に十万両(約600億円)の蓄財

## 改革の2大理念: 方谷の理財論

- 事の外に立ちて事の内に屈せず  
(大局的に物事を考え、目先の事に捉われない)
- 義を明らかにして利を計らず  
(義と利を区別することが重要であり、義の和が利に発展する)

当時の備中松山藩の  
公債依存度は？

他の藩も似たりよったりだと思うが

約71%

松山藩の財政赤字の度合い

現在の国家財政に  
あてはめると  
公債発行額は63兆円

現在の日本の財政  
赤字の約2倍

## 徳川幕藩体制の矛盾

農本主義  
経済  
(米本位制)

併存

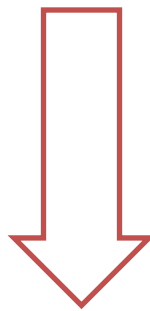
資本主義  
経済  
(金本位制)

米中心の経済から貨幣中心の経済へ

## 方谷の藩政改革

資本主義経済(貨幣経済)による利潤の確保

殖産興業  
の推進



有効需要  
の創出

借金の返済



# 方谷の理念（現代版の解釈）

しせいそくだつ

至誠惻怛

と

しみんぶいく

士民撫育

藩の財政の現状把握と分析 → SWOT分析

効果的な経済政策 → 優位性、選択と集中

大局的な視野 → 先見性と計画性

庶民への情報 → 情報公開（情報発信）

率先垂範と人材の登用 → 抜擢人事

# 方谷の政策と戦略

## 方谷の七大政策

上下節約

負債整理

民政刷新

藩札刷新

軍政改革

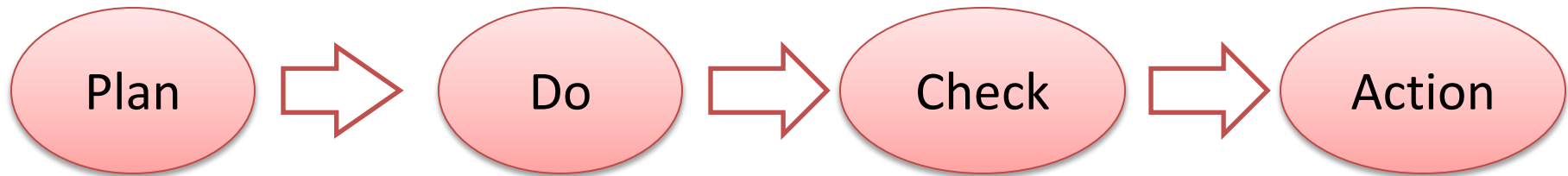
教育改革

産業振興における  
方谷のDNAに  
このまちの再生の  
ヒントが...

産業振興

# 方谷の政策と戦略（具体的）

## PDCAサイクル



### 上下節約 負債整理

- ・藩士の俸禄を減ずる
- ・儉約例の発布（主に中級以上の武士と豪商、豪農）
- ・綿密な返済計画の策定と実行
- ・大坂商人への借金返済の延期願い
- ・大坂蔵屋敷の廃止

アカウントビ  
リティー

### 行財政改革

歳出、経費の削減  
職員の報酬のカット、事業仕分け  
情報公開、ハコモノの見直し、廃止

## 藩札刷新

- ・信用失墜の旧藩札の焼却
- ・新藩札の発行

パフォーマンス効果  
アナウンス効果

大

量的金融  
緩和政策

積極的市民債、エコファンドの発行  
貨幣の流通の拡大、外部資本の獲得

## 民政刷新

- ・賄賂、賭博、奢侈の禁止
- ・備蓄米の確保(貯倉の設置)

職員の意識改革  
人事制度の見直し  
危機管理政策

## 産業振興

新しい時代の潮流に乗った産業振興：有効な公共政策

- ①鉄製品、農産物(たばこ他)等の特産品の育成
- ②藩の事業部門の新設(専売事業の推進)
- ③船による物資の輸送(江戸へ直送)

方谷DNAで考えると

- ①地域資源活用の移出品
- ②独占地域ブランドの開発
- ③独自流通ルートの発掘

規模の経済  
事業の独占化

外貨の獲得

- ・産業の集積、専売、直営
- ・輸送の見直し(大量輸送、中抜き)
- ・産地から大消費地(江戸)へ

乗数効果

新たな公共投資、設備投資  
⇒新たな雇用の創出  
(地域内循環経済の確立)

## 2. 方谷DNAとまちづくり

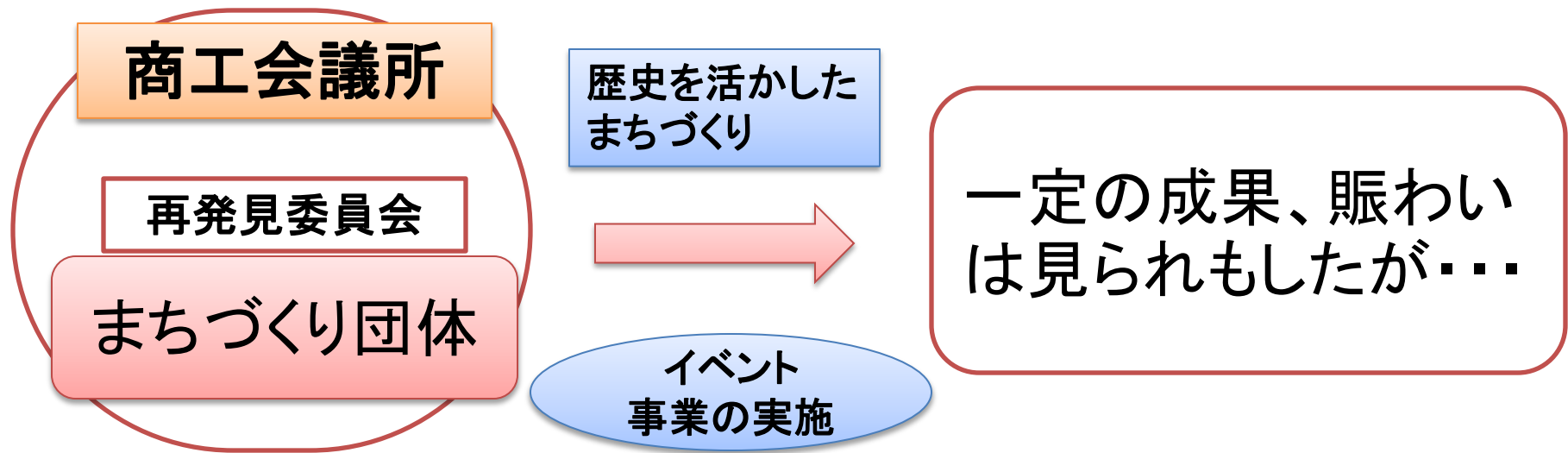
<方谷とはなにか> <今はなにか>

- 方谷DNA1: 独自性の発掘  
(差別化・個性の存在)
- 方谷DNA2: 現状調査・分析  
(地域の現状と課題)
- 方谷DNA3: 優位性、選択と集中  
(何に特化するのか)
- 方谷DNA4: 情報発信と収集  
(市場開拓とトレンド、ニーズの把握)
- 方谷DNA5: ひとづくり(人材育成)

## 2. 方谷DNAとまちづくり

差別化・個性の存在	<ul style="list-style-type: none"><li>・方谷の功績・遺産</li><li>⇒地域資源(人、モノ、生活・文化)を物語化、差別化、高付加価値化した新たなビジネスモデルの構築</li></ul>
現状の調査・分析	<ul style="list-style-type: none"><li>・クロスSWOT分析(外的要因、内的要因)</li><li>・アンケート調査</li></ul>
優位性、選択と集中	<ul style="list-style-type: none"><li>・歴史的遺産、古い町並み(コンパクトな城下町)の保存、整備</li><li>・地域の資源を新しい発想での利活用、掘り起し(文化性、季節性に特化したイベント・事業の企画、立案)⇒農商工連携の6次産業化</li></ul>
情報発信と収集	<ul style="list-style-type: none"><li>・東京、大坂などの大消費地への情報発信と市場調査(新たな需要の創出)</li><li>・中国人留学生(卒業生含む)、吉備国際大学との新たな連携(産・官・学・民)⇒中国との交流</li></ul>
ひとづくり(人材育成)	<ul style="list-style-type: none"><li>・市民への啓蒙活動、ホスピタリティーの醸成</li><li>・コミュニティーカレッジの創設</li><li>・まちづくりリーダーの養成(方谷のDNAの踏襲)</li></ul>

### 3. これまで駄目だったわけ



問題の原因はどこにあるのか

みんな頑張っているようなのに なぜ？



全く、地域資産  
を活かしていない。  
活かしているのは口だけ。



さらに他力本願の  
地域振興  
(補助金頼み)

伯備線の方谷駅が活かされているか？

立て札だけ。誰も知らない。

方谷の存在を東京で情宣したか？

地下鉄の宙づり広告にもない。  
マーケティングセンスがゼロの地域

地域振興の着眼点、ピントが外れている。  
町並改修や観光開発で地域が振興するという甘い考え！

## 情報発信(地域ブランド)



山田方谷

Q. 方谷のことをしらべるにはどこにいったらいいの？

Q. 方谷に関するものを見たいのですが、どこにいけばいいですか？

A. 記念館、展示館みたいなものはありゃーせんが。  
本でもこうてよみゃーええが！

## 情報発信(地域ブランド)



Q. 方谷駅に行ってみ  
たいのですが交通のア  
クセスはありますか？

Q. 方谷駅に行ってみ  
たいのですが、お茶する  
ところがありますか？

A. なんにもありや  
せんでー

A. 電車やバスは便が  
ありやせんけー  
タクシーしかない  
でー

## 情報発信(地域ブランド)



牛麓舎跡

牛麓舎は、幕末に備中松山藩の藩政改革に取り組んだことで知られる山田方谷の家塾です。方谷は藩校有終館の学頭をつとめながら、家塾を開きました。三島中洲、矢吹久次郎、進鴻溪といった人がこの地で学びました。

場所が臥牛山の麓にあったため「牛麓舎」という名があります。現在は市内循環バスの松山城登山口バス停の隣に石碑が建っています。

Q. 方谷の私塾「牛麓舎」はどこにあるのですか？



## 情報発信(地域ブランド)



備中松山城



Q. 備中松山城に登りたいんですが？

A. 車じゃあがれりゃあせんでい  
歩いたら1時間ぐらいかかるでえ

Q. どこかで食事したいのいんですが

A. 高梁国際ホテルぐらいしかありゃあせんでえ

## 情報発信(地域ブランド)



備中神楽

Q. 備中神楽や渡り拍子は  
どこで見られるの？



渡り拍子

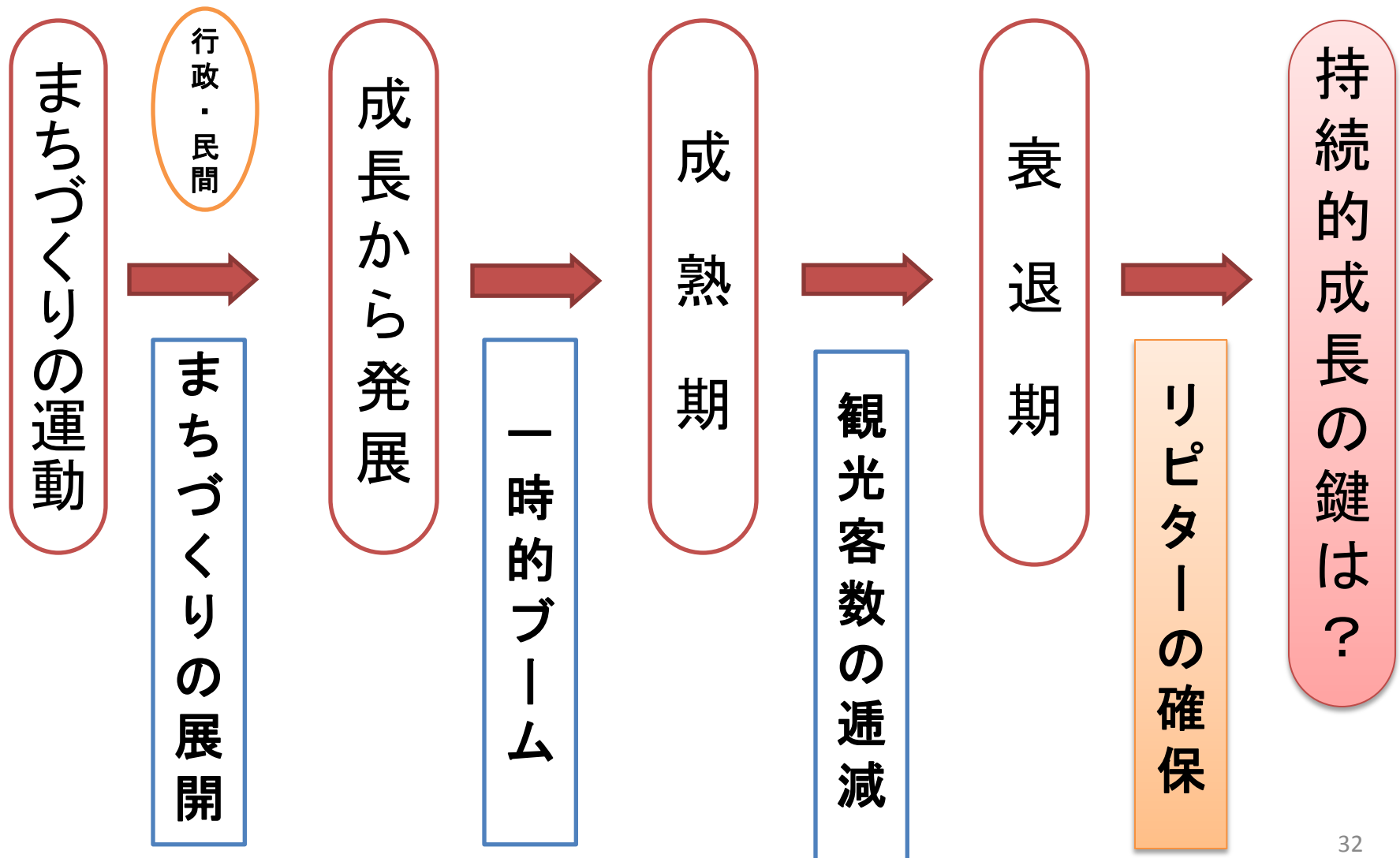
A. よう知らん。  
いつもはしょうらん  
でえ

まずは自分(地域)を知ること  
方谷も徹底的に現状分析  
しているよ!

## クロスSWOT分析

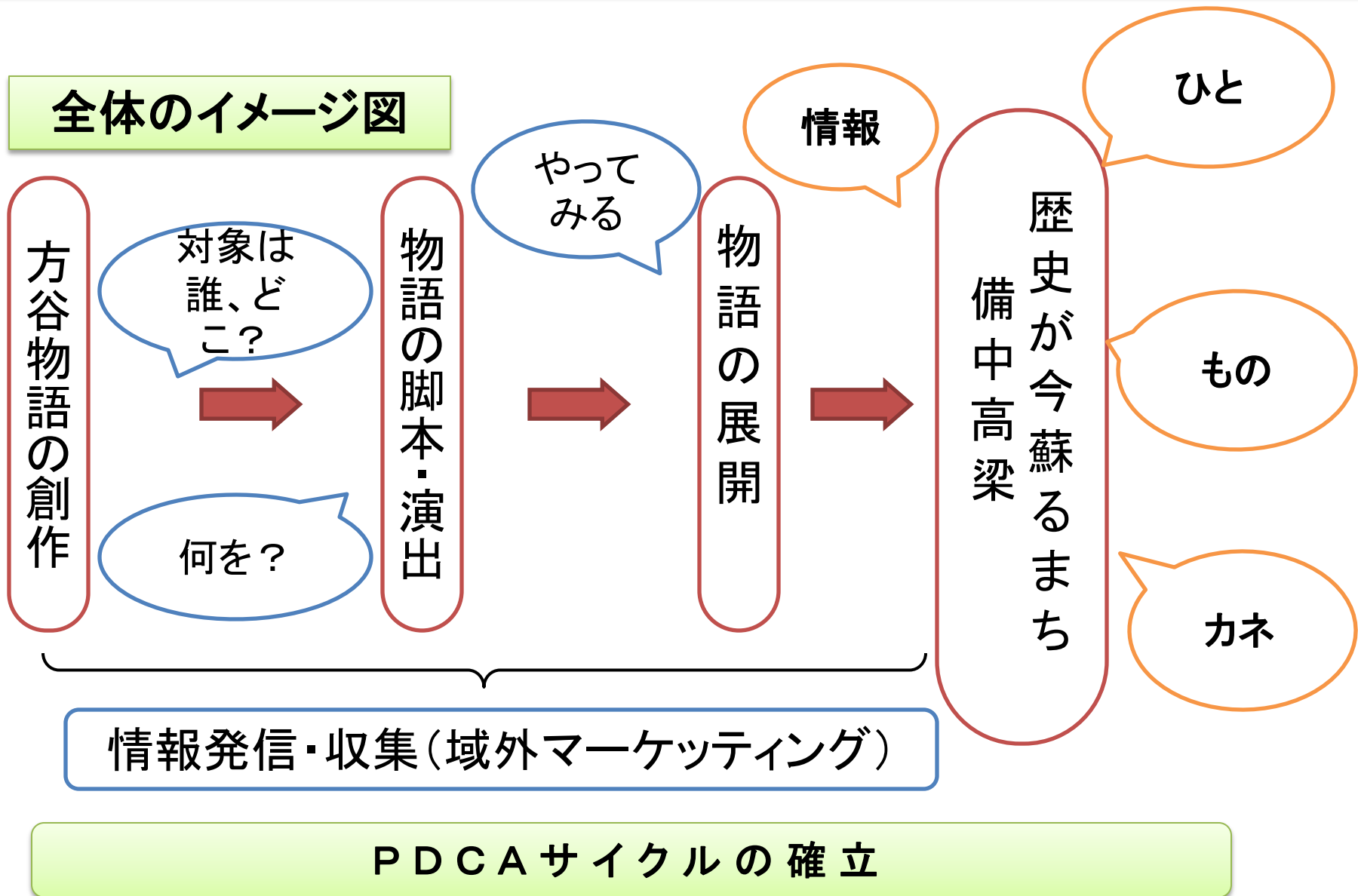
強み × 機会	機会に対して強みを活かして攻勢をかける・・・ <b>積極展開</b>
強み × 脅威	強みにより脅威を回避または機会を創出する・・・ <b>差別化戦略</b>
弱み × 機会	機会を逃がさず獲得して成果を出すための・・・ <b>弱みの克服</b>
弱み × 脅威	どうしても必要な分野のみ対応策を検討する・・・ <b>最低限のレベル維持</b>

# 観光地のライフサイクル





# 4. 方谷DNA蘇るまちづくりの提案



## 提案1. 方谷DNA4(情報発信、収集)

域外マーケティング

ターゲットを絞る

方谷物語をインターネット配信⇒関西圏、首都圏、名古屋圏

さらにそれを

JR,地下鉄の中吊り広告で宣伝

## 提案1. 方谷DNA4(情報発信、収集)

域外マーケティング

急速な発展を続ける中国

中国人留学生(2010年当時)  
(学部、大学院生;約370名  
卒業生;約300名)

吉備国際大学との連携・強化⇒中国人留学生との交流・促進

2年の学生に「まちづくり実践」単位の必修化

外貨獲得:地域の活性化

# 提案3. 方谷DNA2・3 農商工連携(6次産業化)

## 地域の資源を活かす

武家屋敷、古い町並み(町屋)、  
寺院

アユ、トマト、ピオーネ、備中野  
菜、  
備中小豆などの農産物

備中神楽、渡り拍子  
(伝統芸能、文化)

方谷の備中ブランドの復活

映画のロケ地としての高梁  
(フーテンの寅さん、バッテリーなど)

農商工連携の推進

途中下車型と停留型観光へ

観る観光から体験型観光へ

# 提案3. 方谷DNA2・3 農商工連携(6次産業化)

## 癒されるまち高粱

先人、偉人の足跡を感じる空間  
の中で...

地域の特産品を活かした料理と  
お酒で...

芸術的文化的なものを観賞しな  
がら...

方谷のDNA(精神的文化)の体験

## 文化性・季節性の演出

癒しの空間の提供

定住化の推進  
終の棲家

住んでみたいまち高粱へ



吹屋周辺観光地一覧

-  見る・楽しむ
  - [広兼邸](#)
  - [吹屋ふるさと村](#)
  - [西江邸](#)
  - [吹屋小学校](#)
  - [吹屋の銅山笹軟坑道](#)
  - [ベンガラ館](#)
  - [郷土館](#)
  - [旧片山邸](#)

---

-  自然・景勝地
  - [吹屋ふれあいの森](#)

---

-  美術館・資料館
  - [ベンガラ陶芸館](#)

---

-  レジャー・体験・温泉
  - [成羽愛宕大花火](#)

---

-  食べる・特産品
  - [中野ふるりの味直売所](#)
  - [観音滝川直売所](#)

# おわりに：今後の具体性と体制作りへ

